

2025年度第3回理事会報告

開催日時:2025年10月3日(土)17:00~19:00

開催場所:同志社大学室町キャンパス寒梅館6階大会議室(京都府京都市上京区御所八幡町103)/Zoom

I. 会長挨拶

定刻となり、和気純子会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

オンライン参加を含むハイブリッド形式の会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて和気会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2025年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として和気会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当金子(充)理事より、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、新規入会希望者23名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 学会賞審査委員の委嘱について

総務担当金子(充)理事より配付資料に基づき説明があった。任期満了等の理由により退任する委員6名の後任委員について、前回理事会で承認された5名に加え、残りの1名が推薦され、満場一致で承認された。

第3号議案 2026年度・2027年度秋季大会について

来年度から地域ブロック単位での開催となり、2026年度は北海道地域ブロック、2027年度は東北地域ブロックが担当することを確認した。北海道地域ブロック担当岡田理事より実行委員会の体制や準備状況について報告があった。日程は2026年9月19日(土)・20日(日)、大会テーマは「複雑で不透明、曖昧な社会において社会福祉学の果たすべき役割」と提案され、満場一致で承認された。

2027年度秋季大会について、東北地域ブロック担当元村理事より、2027年10月2日(土)・3日(日)に、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスにて開催予定との提案があり、満場一致で承認された。

第4号議案 機関誌編集委員会より規程類の改定について

機関誌編集担当坪理事より、投稿種別の変更ならびに二重投稿規程に関して規程類改定の審議依頼があった。投稿種別を原著論文と調査報告の2種類に変更することに伴い、「機関誌編集規程」「『社会福祉学』投稿要領」を改定する。文字数は、原著論文は20,000字、調査報告は12,000字とする。また、博士論文は原則として「既発表」論文として扱うこととした。なお、これらの変更に伴う「査読ガイドライン」の修正が進行中で「査読要領」とする予定との報

告があった。審議の結果、満場一致で規程類の改定が承認され、2026 年度総会以降の投稿論文より適用する。

第 5 号議案 謝金規程 (通訳謝金) の改定について

欧米から講師を招聘し、本格的な国際学術交流を促進するにあたり、現行の通訳謝金 (1 時間あたり 5,000 円) では低すぎるため、大学院生以外の一般の通訳謝金を 1 時間 10,000 円へ増額することが提案され、満場一致で承認された。

第 6 号議案 関東地域ブロック委員の変更について

関東地域ブロック担当荒井理事より、担当理事の交代に伴い、関東地域ブロック地域部会委員会の委員を交代したいという提案があり、満場一致で承認された。

第 7 号議案 その他

その他の審議事項は特になしを確認した。

IV. 報告事項

1. 2025 年度会員動向

総務担当金子 (充) 理事より、2024 年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当山田理事より、各行事の準備状況等について配布資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれ担当理事から詳細な報告があった。

3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より配付資料に基づき、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。学会ウェブサイト上での機関誌紹介ページの新設について、学会基本構想委員会が進める学会ウェブサイト改定計画と連携して検討することとした。

4. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の本郷副会長より、第 73 回秋季大会でデンマークから講師を招聘した「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」等について報告があった。韓国からは第 73 回秋季大会に 4 チームが自由研究発表に訪れ、10 月 17 日・18 日に開催される韓国社会福祉学会に訪問する予定だが、中国側との連絡停滞が課題となっている。

5. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当今井理事より、2025 年度学会賞の審査経過について報告があった。第 73 回秋季大会 1 日目、開会式に引き続き学会賞授賞式を執り行う。

6. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当中村理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

7. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、学会ニュース 100 号が 11 月に発行予定で、100 号発行時期と合わせ、学会案内チラシを HP 公開予定であるとの報告があった。また、チラシを印刷し、秋季大会で配布する。

8. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、過去の大会要旨集の PDF 公開に向け、個人情報や研究倫理の観点から問題ないか等について確認中との報告があった。

9. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当山野理事より、第 6 回 CS-NET サロン企画を 9 月 14 日に開催し、好評を得たこと、第 73 回秋季大会で開催予定の初期キャリア研究者研究交流会の準備状況、サロン企画の開催予定について報告があった。

10. 学会基本構想委員会からの報告

総務担当金子(充)理事より、学会活性化のため高校生・大学生の大会招待を検討中で、類似の企画を実施している関連学会を視察した。研究倫理指導の徹底が課題との意見が出た。

11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:9 月 6 日に「予期しない妊娠等による困難を抱える方への支援」をテーマにシンポジウムをオンラインで開催した
- ・東北地域ブロック:第 24 回研究大会を 7 月 28 日に開催し、東北部会機関誌第 22 号を 7 月に発刊した。
- ・関東地域ブロック:3 月 22 日に「終戦 80 年の社会福祉」をテーマとした研究大会を企画している。
- ・中部地域ブロック:8 月 30 日に大学院生・初期キャリア研究者勉強会をハイブリッド形式で開催した。
- ・関西地域ブロック:10 月 18 日に若手研究者・院生情報交換会、3 月 8 日に 2025 年度関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロックの年次大会を開催予定。
- ・中国四国地域ブロック:中国・四国地域ブロック第 57 回大会を 2026 年 7 月 11 日に開催予定。
- ・九州地域ブロック:12 月 6 日・7 日に別府大学にて研究大会を開催予定。機関誌『九州社会福祉学』を 2026 年 3 月 31 日付けにて発行予定で査読を進めている。

12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

総務担当金子(充)理事より、過年度の実績により 2 件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

- ・特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会

後援事業名:第 28 回あみ全国大会 in 福岡

- ・一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

後援事業名:第 54 回全国社会福祉セミナー2025in 石川

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

宇都宮理事より、8 月 21 日に第 1 回運営委員会を開催し、補助金制度を実施しており、今年度は 5 学会より申請があり、全件承認されたとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

所理事より、規約の一部修正を実施したこと、次回シンポジウムを2026年3月頃開催する方向で企画を検討中との報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

報告事項は特になし。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

堅田理事より、10月1日より新体制がスタートし、本学会が幹事学会を務めていることが報告された。主要業務として、男女共同参画基本計画に関するパブリックコメントの集約と、公開シンポジウム(2026年3月頃、オンライン予定)の開催があり、シンポジウムの企画を進めている。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

和気会長より、8月末までメーリングリストの管理者を担当していたが、日本社会学会に引き継ぎを行い、役割を終了したとの報告があった。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

報告事項は特になし。

議長は、議事終了を告げ、19時00分に理事会を解散した。

以上